

科目名 (科目番号)	小児看護学援助論 (時間割参照)	教員名 野田智子 塙 恵子	学科等	看護	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	演習	オフィスアワー	授業開始時提示	
授業概要	健康障害をもつ子どもと家族が、より良く生活・療養するための援助方法について学ぶ。健康障害が子どもの成長発達や家族機能に及ぼす影響について理解するとともに、子どもの特性をふまえた上で、病態・症状・看護を関連づけて理解する。また、小児看護に必要な技術について子どもの特性から理解し、安全安楽に実施できるよう演習を通して習得することを目的とする。						
目的・目標	目的:小児期に代表的な健康問題を有する子どもとその家族を対象に、基本的な知識と小児看護に特有の技術を習得し、個々の子どもに応じた看護援助を展開できる。 目標:①健康障害をもつ小児と家族が生活・療養するための看護について理解する。②小児の看護過程が展開できる基礎的思考力を養う。③小児の看護に必要な技術を養う。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	病気や障害が子どもと家族に与える影響	到達目標: 病気や障害が子どもと家族に与える影響について理解する。 学習内容: 子どもの発達段階の違いによる病気や障害の受け止め方の違いと、病気や入院に伴う子どもと家族のストレスを緩和する看護について学習する。				
	2	子どもとよくみられる症状と看護	到達目標: 子供に多い症状と看護について理解する。 学習内容: 子どもとよくみられる症状と原因（発生機序）と身体機能の特徴との関係、そして個々の症状の観察ポイント、援助の根拠も踏まえた症状別看護について学習する。				
	3	外来における子どもと家族への看護	到達目標: 外来における子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 小児外来看護の特徴と外来の機能、継続看護の実践について学習する。				
	4	検査や処置を受ける子どもと家族への看護	到達目標: 検査や処置をうける子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 検査や処置を受ける子どもへの説明と同意、検査や処置を受ける子どもの力を引き出す援助、子どもの安全、安楽への援助について学習する。				
	5	急性期にある子どもと家族への看護①	到達目標: 急性期にある子どもと家族の看護について理解する。 学習内容: 急性期の特徴と生体機能の安定、安全の確保、苦痛の緩和について学習する。				
	6	急性期にある子どもと家族への看護②	到達目標: 急性期にある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 急性期の特徴と生体機能の安定、安全の確保、苦痛の緩和について学習する。				
	7	手術・検査を受ける子どもと家族①	到達目標: 周手術期の子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 小児期の手術の特殊性、術前、術後急性期、術後回復期の看護と家族の思いについて学習する。				
	8	手術・検査を受ける子どもと家族①	到達目標: 周手術期の子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 小児期の手術の特殊性、術前、術後急性期、術後回復期の看護と家族の思いについて学習する。				
	9	長期フォローアップが必要な子どもと家族①	到達目標: 慢性期疾患にある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 慢性疾患をもつ子どもとその家族が直面する困難な体験やその心理、年齢（発達段階）に応じた子どものセルフケア能力を踏まえた支援の方法を学習する。				
	10	長期フォローアップが必要な子どもと家族②	到達目標: 慢性期疾患にある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 慢性疾患をもつ子どもとその家族が直面する困難な体験やその心理、年齢（発達段階）に応じた子どものセルフケア能力を踏まえた支援の方法を学習する。				
	11	小児がんの子どもと家族①	到達目標: 小児がんの子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 小児がんの子どもと家族の心理・社会的問題と看護師の役割、白血病・脳腫瘍における化学療法や外科的療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療に対する看護について学習する。				
	12	小児がんの子どもと家族②	到達目標: 小児がんの子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 小児がんの子どもと家族の心理・社会的問題と看護師の役割、白血病・脳腫瘍における化学療法や外科的療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療に対する看護について学習する。				
	13	低出生体重児と家族	到達目標: ハイリスク新生児と家族への看護について理解する。 学習内容: 低出生体重児の在胎週数と発育との関係および分類、低出生体重児の解剖・生理学的特徴、保育器の機能を含めた胎外適応への援助、家族の心理をふまえたケアの実践、退院後の継続看護および社会資源のシステムについて学習する。				
	14	在宅における子どもと家族の看護	到達目標: 在宅における子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 子どもの在宅療養の環境と看護の役割、在宅療養中の子どもと家族の特徴、病棟から在宅への移行時、在宅療養継続に必要な多職種連携について学習する。				
	15	終末期にある子どもと家族への看護	到達目標: 終末期にある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容: 終末期の特徴、子どもの生命、死のとらえ方、緩和ケアと子供を亡くした家族について学習する。				
	16	被虐待児と災害を受けた子どもへの看護	到達目標: 被虐待児と災害を受けた子どもに対する看護について理解する。 学習内容: ・虐待が子どもに与える影響、虐待のサイン、保護者の虐待防止への支援方法、被虐待児への短期的・長期的な支援について学習する。・災害を受けた子どもの心と身体への影響、支援を必要とするハイリスク要因をもつ子どもと家族への看護援助について学習する。				
17	小児に必要な看護技術③ 演習	到達目標: 小児に必要な主な看護技術について理解する。 学習内容: モデル人形を用いて、新生児の抱き方、身体計測、バイタルサインの測定について体験的に学習する。					

授 業 計 画	18	小児に必要な看護技術④ 演習	到達目標：小児に必要な主な看護技術について理解する。 学習内容：モデル人形を用いて、新生児の抱き方、身体計測、バイタルサインの測定について体験的に学習する。
	19	小児に必要な看護技術⑤ 演習	到達目標：小児に必要な主な看護技術について理解する。 学習内容：モデル人形を用いて、DIV挿入中の清潔ケア、安全（KYT）について体験的に学習する。
	20	小児に必要な看護技術⑥ 演習	到達目標：小児に必要な主な看護技術について理解する。 学習内容：モデル人形を用いて、DIV挿入中の清潔ケア、安全（KYT）について体験的に学習する。
	21	子どもの看護に必要な技術①	到達目標：子どもの与薬技術について理解する。 学習内容：子どもの与薬の基礎的知識と援助方法について学習する。
	22	子どもの看護に必要な技術②	到達目標：子どもの検体採取技術について理解する。 学習内容：子どもの検体採取（採血・採尿・腰椎穿刺・骨髄穿刺）の基礎的知識と援助方法について学習する。
	23	障がいのある子どもと家族①	到達目標：障がい児のある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容：心身障害のある子どもと家族の特徴、心身障害のある子どもに生じやすい身体症状や健康問題、その援助方法、医療的ケアにおける課題について学習する。
	24	障がいのある子どもと家族②	到達目標：障がい児のある子どもと家族への看護について理解する。 学習内容：心身障害のある子どもと家族の特徴、心身障害のある子どもに生じやすい身体症状や健康問題、その援助方法、医療的ケアにおける課題について学習する。
	25	看護過程の展開①	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	26	看護過程の展開②	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	27	看護過程の展開③	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	28	看護過程の展開④	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	29	看護過程の展開⑤	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	30	看護過程の展開⑥	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
成績評価の方法・基準		試験（60％）、課題提出（40％）で評価する。正当な理由がなく本試験を欠席した場合は、再試験を実施しません。	
教科書		・ナースング・グラフィカ 2023年改訂小児看護学①小児の発達と看護(概論と同じ) ・ナースング・グラフィカ 2023年改訂小児看護学②小児看護技術 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学2	中野 綾美 編 中野 綾美 編 奈良間美保 丸光恵 他 メディカ出版 メディカ出版 医学書院
参考図書		・ナースング・グラフィカ 2023年改訂小児看護学③小児の疾患と看護 ・写真でわかる小児看護技術	中村智彦 西沢博子 編 山本 恵子 監修 インターメディカ
教員からのメッセージ		2年前期までに学習した「専門基礎科目」や「小児看護学概論」などの知識の不確かな部分は、自己学習して臨みましょう。複数の事例や演習を通じて、受け身にならず自ら学ぶ時間になるよう工夫していきます。小児病棟や教育施設で勤務した看護師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。	

科目名 (科目番号)	小児看護学援助論 (最下段参照)	教員名	看護学科教員 埜 恵子	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	演習	オフィスアワー		
授業概要	健康障害をもつ子どもと家族が、より良く生活・療養するための援助方法について学ぶ。健康障害が子どもの成長発達や家族機能に及ぼす影響について理解するとともに、子どもの特性をふまえた上で、病態・症状・看護を関連づけて理解する。また、小児看護に必要な技術について子どもの特性から理解し、安全安楽に実施できるよう演習を通して習得することを目的とする。 関連する垂直軸：看護、健康の状態、人間の理解、他職種連携							
目的・目標	目的:小児期に代表的な健康問題を有する子どもとその家族を対象に、基本的な知識と小児看護に特有の技術を習得し、個々の子どもに応じた看護援助を展開できる。 目標:①健康障害をもつ小児と家族が生活・療養するための看護について理解する。②小児の看護過程が展開できる基礎的思考力を養う。③小児の看護に必要な技術を養う。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	看護学科教員	到達目標:病気・障害を持つ子どもと家族の入院中の看護、入院中の看護について理解する。 学習内容:子どもの病気に対する理解力や病気・入院が子どもや家族に与える影響について学習する。					
	2	子どもと病気・入院・外来	到達目標:病気・障害を持つ子どもと家族の看護、特に外来における子どもと家族の看護を理解する。 学習内容:小児外来看護の特徴と外来の機能、継続看護の実践について学習する。					
	3	急性状況下にある子どもと家族	到達目標:急性状況下にある子どもの看護を子どもに多い症状を理解する。 学習内容:急性状況下にある子どもと家族の特徴、子どもによくみられる症状と原因（発生機序）と身体機能の特徴との関係、そして個々の症状の観察ポイント、援助の根拠も踏まえた症状別看護について学習する。					
	4	急性状況下にある子どもと家族	到達目標:急性状況下にある子どもの看護を子どもに多い症状を理解する。 学習内容:急性状況下にある子どもと家族の特徴、子どもによくみられる症状と原因（発生機序）と身体機能の特徴との関係、そして個々の症状の観察ポイント、援助の根拠も踏まえた症状別看護について学習する。					
	5	低出生体重児と家族	到達目標:ハイリスク新生児と家族への看護を低出生体重児を通して理解する。 学習内容:低出生体重児の在胎週数と発育との関係および分類、低出生体重児の解剖・生理学的特徴、保育器の機能を含めた胎外適応への援助、家族の心理をふまえたケアの実践、退院後の継続看護および社会資源のシステムについて学習する。					
	6	低出生体重児と家族	到達目標:ハイリスク新生児と家族への看護を低出生体重児を通して理解する。 学習内容:低出生体重児の在胎週数と発育との関係および分類、低出生体重児の解剖・生理学的特徴、保育器の機能を含めた胎外適応への援助、家族の心理をふまえたケアの実践、退院後の継続看護および社会資源のシステムについて学習する。					
	7	手術・検査を受ける子どもと家族①	到達目標:周手術期の子どもと家族の看護および検査・処置を受ける子どもの看護 について、総論的内容を理解する。 学習内容:小児期の手術の特殊性、検査・処置と子どもの反応と子どもの安全、プレパレーションの概念、子どもの力を引き出す援助、負担の軽減を目指した抑制方法、家族の思いについてを学習する。					
	8	手術・検査を受ける子どもと家族①	到達目標:周手術期の子どもと家族の看護および検査・処置を受ける子どもの看護 について、総論的内容を理解する。 学習内容:小児期の手術の特殊性、検査・処置と子どもの反応と子どもの安全、プレパレーションの概念、子どもの力を引き出す援助、負担の軽減を目指した抑制方法、家族の思いについてを学習する。					
	9	手術・検査を受ける子どもと家族②	到達目標:周手術期の子どもと家族の看護および検査・処置を受ける子どもの看護 について、特に小児に多い疾病を通して理解する。 学習内容:川崎病、心室中隔欠損症、ファロー四徴症、口唇口蓋裂、扁桃切除、骨折、肥厚性心門狭窄症、ヒルシュスプルング病、鎖肛、胆道閉鎖症をもつ子どもと家族における看護の実践を視聴覚資料も含め具体的に学習する。					
	10	手術・検査を受ける子どもと家族②	到達目標:周手術期の子どもと家族の看護および検査・処置を受ける子どもの看護 について、特に小児に多い疾病を通して理解する。 学習内容:川崎病、心室中隔欠損症、ファロー四徴症、口唇口蓋裂、肥厚性心門狭窄症、ヒルシュスプルング病、鎖肛をもつ子どもと家族における看護の実践を視聴覚資料も含め具体的に学習する。					
	11	長期フォローアップが必要な子どもと家族①	到達目標:慢性期疾患にある子どもと家族の看護について、総論的内容を理解する。 学習内容:慢性疾患をもつ子どもとその家族が直面する困難な体験やその心理、年齢（発達段階）に応じた子どものセルフケア能力を踏まえた支援の方法を学習する。					
	12	長期フォローアップが必要な子どもと家族①	到達目標:慢性期疾患にある子どもと家族の看護について、総論的内容を理解する。 学習内容:慢性疾患をもつ子どもとその家族が直面する困難な体験やその心理、年齢（発達段階）に応じた子どものセルフケア能力を踏まえた支援の方法を学習する。					
	13	長期フォローアップが必要な子どもと家族②	到達目標:慢性期疾患にある子どもと家族の看護について、主な対象疾病を通じて理解する。 学習内容:ネフローゼ症候群、糖尿病、気管支喘息(アレルギー)の子どもと家族の実際の看護について学習する。					
	14	長期フォローアップが必要な子どもと家族②	到達目標:慢性期疾患にある子どもと家族の看護について、主な対象疾病を通じて理解する。 学習内容:ネフローゼ症候群、糖尿病、気管支喘息(アレルギー)の子どもと家族の実際の看護について学習する。					
	15	小児がんの子どもと家族①	到達目標:小児がんの子どもと家族の心理を理解するとともに、小児がんの子どもの発達段階・病状・治療状況に応じた援助を理解する。 学習内容:小児がんの子どもと家族の心理・社会的問題と看護師の役割、白血病・脳腫瘍における化学療法や外科的療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療に対する看護について学習する。					
	16	小児がんの子どもと家族①	到達目標:小児がんの子どもと家族の心理を理解するとともに、小児がんの子どもの発達段階・病状・治療状況に応じた援助を理解する。 学習内容:小児がんの子どもと家族の心理・社会的問題と看護師の役割、白血病・脳腫瘍における化学療法や外科的療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療に対する看護について学習する。					
17	小児がんの子どもと家族②	到達目標:小児がんの子どもに対する検査や処置の援助方法、小児がん看護における他職種連携によるチーム医療を理解する。 学習内容:小児がんの子どもの痛みを伴う処置（腰椎穿刺、骨髄穿刺）について視聴覚資料も含めた具体的援助方法、小児がん看護における他職種連携とチーム医療について学習する。						

授 業 計 画	18	小児がんの子どもと家族②	到達目標：小児がんの子どもに対する検査や処置の援助方法、小児がん看護における他職種連携によるチーム医療を理解する。 学習内容：小児がんの子どもの痛みを伴う処置（腰椎穿刺、骨髄穿刺）について視聴覚資料も含めた具体的援助方法、小児がん看護における他職種連携とチーム医療について学習する。
	19	障がいのある子どもと家族	到達目標：障がい児の福祉施策および療育の変遷と現状、障がい児をもつ家族の心理、必要な支援を理解する。 学習内容：障害のある子どもとその家族に対する社会的支援と看護師の役割、医療的ケアにおける課題、そして小児看護実践と倫理的配慮との関連を学習する。
	20	障がいのある子どもと家族	到達目標：障がい児の福祉施策および療育の変遷と現状、障がい児をもつ家族の心理、必要な支援を理解する。 学習内容：障害のある子どもとその家族に対する社会的支援と看護師の役割、医療的ケアにおける課題、そして小児看護実践と倫理的配慮との関連を学習する。
	21	看護過程の展開①	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して、看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	22	看護過程の展開①	到達目標：子どもと家族に必要な看護とは何かを理解して、看護過程を展開できる。 学習内容：慢性疾患で入院した子どもと家族に関する事例を基に、小児のアセスメント指針を活用し情報の整理、分析・解釈、看護問題関連図の作成、立案までの一連の過程を学習する。
	23	看護過程の展開②	到達目標：グループ発表を通じて、対象の子どもと家族の看護について考えを深める。 学習内容：グループ毎の発表にて、慢性疾患で入院した子どもと家族についての情報の整理、分析・解釈、病態関連図、看護問題関連図そして看護診断に対する個別性のある計画について学習する。（グループ毎の発表）
	24	看護過程の展開②	到達目標：グループ発表を通じて、対象の子どもと家族の看護について考えを深める。 学習内容：グループ毎の発表にて、慢性疾患で入院した子どもと家族についての情報の整理、分析・解釈、病態関連図、看護問題関連図そして看護診断に対する個別性のある計画について学習する。（グループ毎の発表）
	25	小児看護技術演習①	到達目標：小児に必要な主な看護技術のなかで、モデル人形を用いて、新生児の抱き方、DIV挿入中の寝衣交換やおむつ交換を通して体験的に理解する。 学習内容：事前課題である「技術ノート」に記入することで基礎的知識を習得したうえで、特に小児における持続点滴中の管理方法を学習する。
	26	小児看護技術演習①	到達目標：小児に必要な主な看護技術のなかで、モデル人形を用いて、新生児の抱き方、DIV挿入中の寝衣交換やおむつ交換を通して体験的に理解する。 学習内容：事前課題である「技術ノート」に記入することで基礎的知識を習得したうえで、特に小児における持続点滴中の管理方法を学習する。
	27	小児看護技術演習②	到達目標：小児に必要な主な看護技術のなかで、モデル人形を用いての身体計測やバイタルサイン測定を体験的に理解する。 学習内容：事前課題である「技術ノート」に記入することで基礎的知識を習得したうえで、乳児の身体計測とバイタルサインの測定を正確に実施する技術を学習する。
	28	小児看護技術演習②	到達目標：小児に必要な主な看護技術のなかで、モデル人形を用いての身体計測やバイタルサイン測定を体験的に理解する。 学習内容：事前課題である「技術ノート」に記入することで基礎的知識を習得したうえで、乳児の身体計測とバイタルサインの測定を正確に実施する技術を学習する。
	29	小児看護技術演習③	到達目標：小児に必要な主な看護技術のうち、モデル人形を用いて、救急救命技術と、経管栄養に必要な器具の操作をについて体験的に理解する。 学習内容：モデル人形を用いて「心肺蘇生法」と「気道異物の除去法」の学習、特に小児における経管栄養中の管理方法を学習する。
	30	小児看護技術演習③	到達目標：小児に必要な主な看護技術のうち、モデル人形を用いて、救急救命技術と、経管栄養に必要な器具の操作をについて体験的に理解する。 学習内容：モデル人形を用いて「心肺蘇生法」と「気道異物の除去法」の学習、特に小児における経管栄養中の管理方法を学習する。
成績評価の方法・基準		対面時：試験（50％）・確認テスト（20％）・課題提出（30％）で評価する オンライン時：確認テスト（60％）・看護過程課題（25％）・技術演習課題（15％）	
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学1 系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学2 1:概論と同じ教科書	奈良間美保 丸光恵 他	医学書院
参考図書	ナーシング・グラフィカ 小児看護学①小児の発達と看護 ナーシング・グラフィカ 小児看護学②小児看護技術 写真でわかる小児看護技術	中野 綾美 編 中野 綾美 編 山本 恵子 監修	メディカ出版 メディカ出版 インターメディカ
教員からのメッセージ	2年前期までに学習した「専門基礎科目」や「小児看護学概論」などの知識の不確かな部分は、自己学習して臨みましょう。複数の事例や演習を通じて、受け身にならず自ら学ぶ時間になるよう工夫していきます。総合病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。 (科目番号 Aクラス:074152 Bクラス:0742155)		